

注意報第 1 号

病防第 6 5 号  
平成 2 2 年 9 月 3 日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報の発表について（送付）

このことについて、平成 2 2 年度病害虫発生予察注意報第 1 号を発表しましたので、送付します。

## 注 意 報

平成 2 2 年度病害虫発生予察注意報第 1 号

農作物名 カンキツ類（極早生温州、早生温州） カキ、ナシ

病害虫名 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 9月上旬以降

3 発生程度 平年比 多

4 注意報発表の根拠

（1）県内 3 地点に設置した予察灯に誘殺された 8 月のチャバネアオカメムシ数は、生産環境研究所（合志市）が 1,465 頭（平年 560 頭）、果樹研究所（宇城市）が 612 頭（平年 326 頭）、天草農業研究所（天草市）が 20,236 頭（平年 3,526 頭）と平年比多であった。特に、天草農業研究所では 8 月 3 半旬に 7,757 頭が誘殺された（図 1、2、3）。

（2）ツヤアオカメムシの 8 月の誘殺数は、生産環境研究所（合志市）が 677 頭（平年 210 頭）、果樹研究所（宇城市）が 196 頭（平年 65 頭）、天草農業研究所（天草市）が 3,462 頭（平年 1,927 頭）と平年比多であった（図 4、5、6）。

（3）県内 3 地点設置した予察灯では、チャバネアオカメムシが 8 月 3～4 半旬に、ツヤアオカメムシが 8 月 1～4 半旬に誘殺数のピークを認めた。その後、両種とも減少しているが、天草農業研究所のチャバネアオカメムシ誘殺数が 8 月 3～6 半旬まで連続して半旬あたり 1,000 頭以上となるなど、依然として高い水準を維持している。

（4）ヒノキ球果の口針鞘数は、7 月 21 日以降増加し、8 月 16 日に採取した県内 5 地点（熊本市河内町、宇城市（松橋、三角）、合志市、大津町）の平均値が 9.3 個、8 月 24 日に採取した天草地域の 5 地点（本渡町、有明町、栖本町、新和町、苓北町）の平均値が 15.5 個と、離脱（樹園地への飛来）の目安となる口針鞘数 1 球果当たり 25 個に近づいている。7 月 21 日に採取したヒノキ 1 球果当たりの平均口針鞘数から、果樹園への飛来時期は 8 月下旬～9月上旬と予測されており、果樹園への飛来の危険性が高まっている（表）。

（5）8 月下旬以降、カンキツに対する局地的な飛来や果実被害が、宇城、玉名、芦北、天草管内で認められている。

## 5 防除上の注意点

- (1) カメムシ類は、局地的に飛来し加害する傾向があり、園内でも局在することがある。園内をよく見回り早期発見に努める。特に過去に集中加害のあった園地は、注意する。
- (2) 果樹園への飛来や被害を確認したら、カメムシ類の活動時間に合わせ、朝か夕方に薬剤を散布する。散布にあたっては、対象作物および対象害虫に登録のある薬剤を使用し、散布濃度、使用回数、使用時期等についてはラベルの記載を遵守する。
- (3) 合成ピレスロイド系薬剤を使用する場合、土着天敵類の発生に悪影響を及ぼし、他の害虫（ハダニ類、カイガラムシ類など）が増加することがあるので注意する。

## 6 連絡先

熊本県病害虫防除所 担当 山田、山口  
 TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493  
 Web <http://www.jppn.ne.jp/kumamoto>

表 果樹カメムシ類によるヒノキ球果の口針鞘数調査

地域	時期	7/21	8/5	8/16	7/21 採取の球果による飛来時期予測日
	地点				
熊本	河内町	0.3	0.1	3.0	9月2日
	宇城	0.9	10.8	9.0	9月1日
菊池	三角町	1.0	9.9	12.5	9月1日
	合志市	0.1	9.0	9.9	9月2日
	大津町	1.6	3.1	12.1	8月31日
	平均	0.8	6.6	9.3	9月1日
	時期	7/21	8/5 ~ 6	8/24	7/21 採取の球果による飛来時期予測日
天草	有明町	2.1	1.0	23.4	8月30日
	本渡町	5.4	7.6	12.2	8月28日
	栖本町	0.1	6.5	11.0	9月1日
	新和町	2.6	14.8	12.2	8月30日
	苓北町	0.0	1.2	18.8	9月2日
	平均	2.0	6.2	15.5	8月30日

注1): 数値はヒノキ球果1個当たりの口針鞘数(各地点30果の平均値)。

注2): チャバネアオカメムシ当年世代成虫のヒノキ離脱予測(堤,2001)

$$Y = 45.94 - 1.362 X - 0.1335 X^2$$

X: 7月下旬の調査日から離脱日までの日数

Y: 7月下旬のヒノキ球果口針鞘数

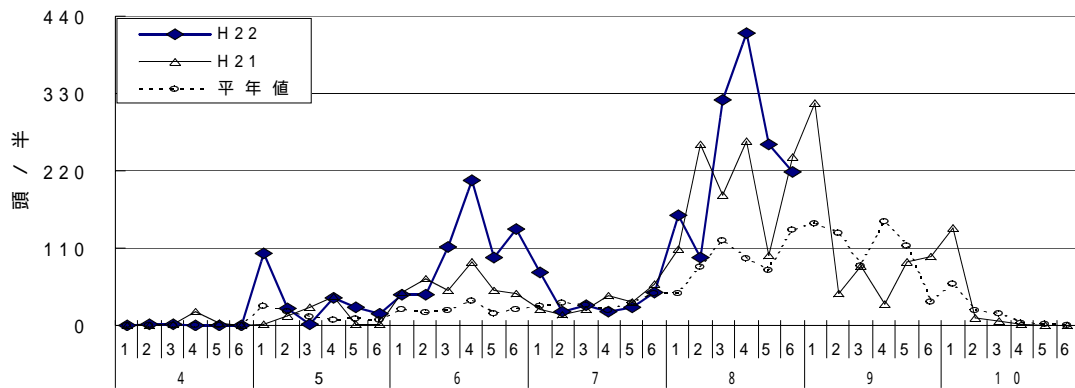


図1 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺推移(合志市)

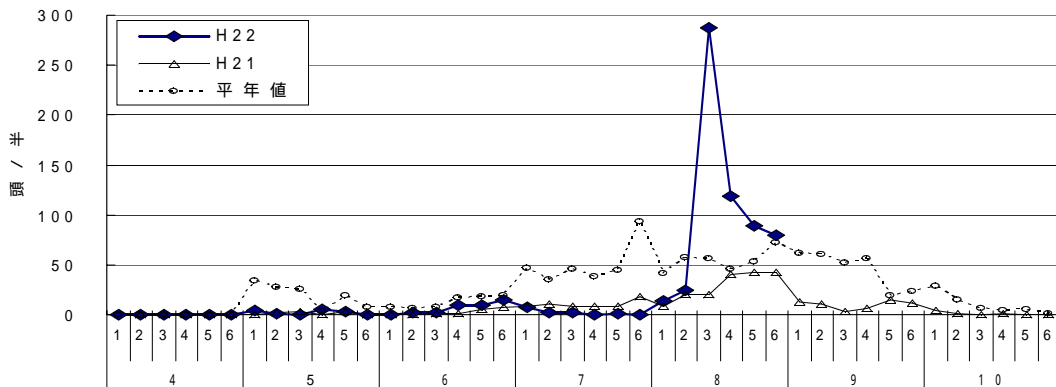


図2 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺推移(宇城市)

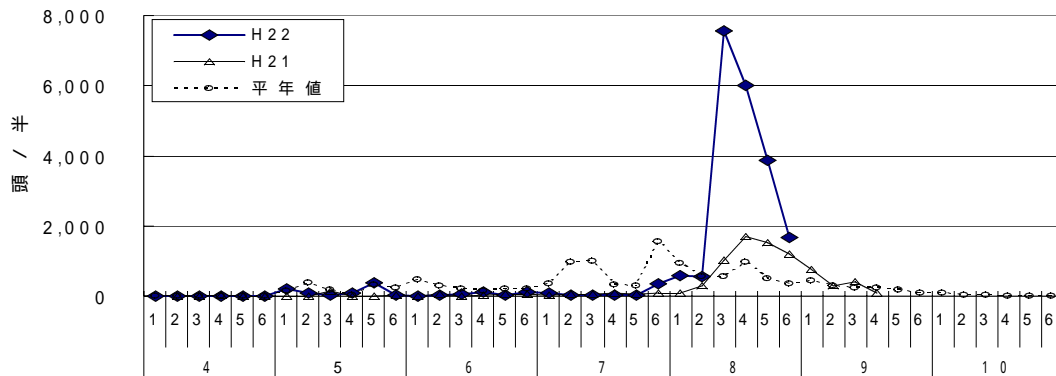


図3 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺推移(天草市)

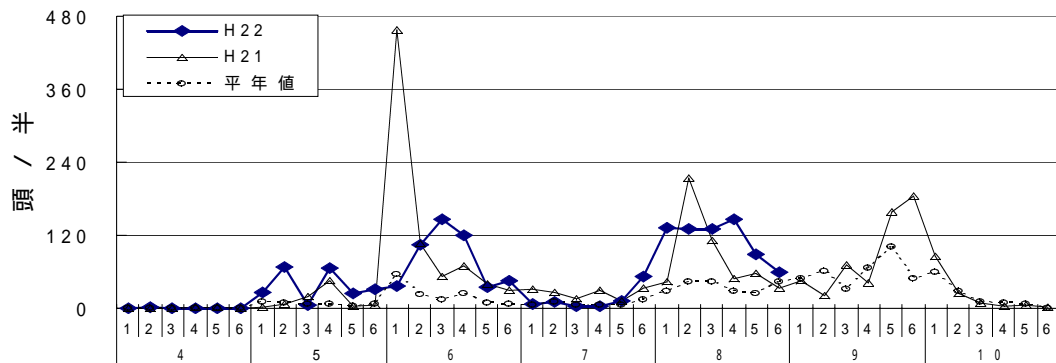


図4 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺推移（合志市）

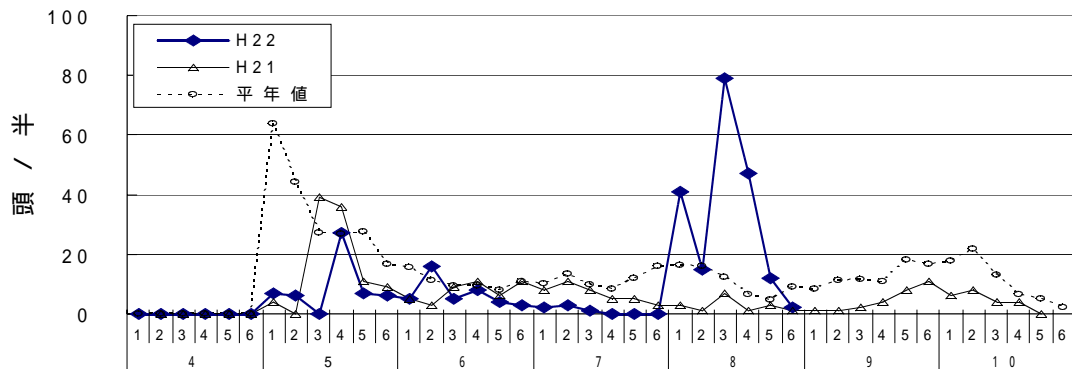


図5 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺推移（宇城市）

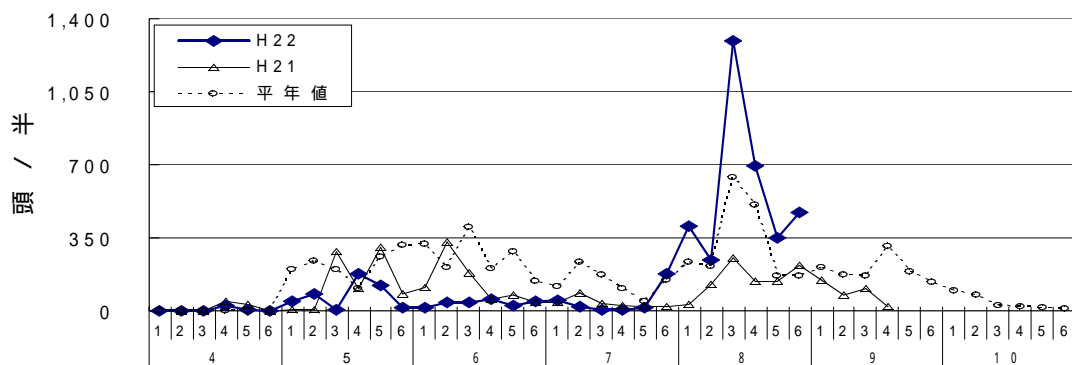


図6 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺推移（天草市）